

# 揖斐川の歴史

～水害との闘いと、川の恵みが育んだ文化～



日本一美しいダム「徳山ダム」

至福井県池田町

● 徳山ダム・徳山湖

● 水と森の学習館

横山ダム

● 徳山民俗資料収蔵庫

● 揖斐まつり  
(三輪神社周辺)

揖斐川町役場

至大垣市

至岐阜市

至坂内・  
滋賀県長浜市

揖斐川町役場

| 車 (約25分)

徳山民俗資料収蔵庫

| 車 (約20分)

徳山ダム

## 揖斐川町への交通アクセス

<自動車でお越しの場合>

名神高速道路

関ヶ原IC 国道21号(約20分)

名神高速道路

大垣IC 国道258号(約15分)

大垣市 国道417号(約30分)

揖斐川町

岐阜市

国道303号(約50分)

<公共交通機関ご利用の場合>

JR東海道本線

JR名古屋駅 (約20分)

JR東海道本線

JR岐阜駅 (約10分)

JR東海道本線

JR大垣駅 (約25分)

養老鉄道

揖斐駅 (約25分)

岐阜羽島駅

JR東海道新幹線

名阪近鉄バス(約30分)



ぎふけんいびがわちよう  
岐阜県揖斐川町

揖斐川町観光情報

検索

# 揖斐川の歴史

～水害との闘いと、川の恵みが育んだ文化～

揖斐川町の中心部を流れる揖斐川は、日本の中心に位置する濃尾平野を流れる「木曾三川」の一つで、揖斐川町北部に位置する冠山を源とする延長121kmの清流です。

揖斐川は、源流から河口までの距離が木曾三川の中でもっとも短く、急勾配であるため、昔から洪水をくりかえす「暴れ川」として、人々からおそれられました。そのため、揖斐の町（現在の揖斐地区）を治めた歴代の領主たちは、この川の流れをいかにコントロールするかを考え苦しりましたが、江戸時代にこの地の領主となった西尾氏、そしてその後を継いだ岡田氏の2代目、おかだしょうけん岡田将監が治水対策を施し、農地の安定化が図られました。

そして揖斐川は当時、上流の山間地域で生産された「段木」と呼ばれる燃料を、下流の港町「桑名」や、遠くは「四日市」、「名古屋」まで運ぶ、重要な舟運ルートでもありました。揖斐の町は、地元で生産される農産物、そして上流からの段木が積み下ろしされる、物流ルートの中継地として大いに栄えました。

こうしてもたらされた豊かな経済力は、江戸中期以降、「町人文化」を大きく開花させました。江戸享保年間より始まったとされる「揖斐まつり」は、豪華絢爛な五両の「芸やま」の上で演じられる華やかな子供歌舞伎と、勇壮な3基の大神輿と10基の子供・青年神輿の渡御（とぎょ）とが同時に行われる、全国でも珍しいイベントとして、開始から300年余り経った今なお、多くの見物客が訪れています。

2008年には、日本最大の総貯水容量を誇るロックフィルダム「徳山ダム」が揖斐川上流に建設され、水害の危険性は大幅に軽減されました。ダムより上流には人間の営みが全くないため、ダムが作り出した人造湖「徳山湖」は、澄んだ水をたたえた美しい湖として有名であり、四季を通じて風光明媚な自然を満喫できる新たな観光スポットとして、訪れる人々の目と心を癒しています。



徳山湖



揖斐まつり 芸やま

## おもしろスポット紹介



### 水と森の学習館

徳山ダム、そしてダム周辺の豊かな自然の中での体験活動を通じて、自然を守る意識を育む学習施設です。徳山ダム見学会、間伐材を使った木工クラフト体験、冬季限定のスノーシュー体験など、一年を通じて自然体験を楽しむことができます。

開館時間:8:30～17:30  
休館日:毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)  
問合先:水と森の学習館 TEL:0585-52-0166  
※各種体験活動の内容等については、施設へお問合せください。



### 徳山民俗資料収蔵庫

徳山ダムの建設に伴い廃村となった旧徳山村の生活用具「徳山の山村生産用具」(国指定有形重要文化財)を収蔵展示し、山村の生活を学ぶことができる施設。その数なんと5,890点山村生活用具では国内最大の収蔵数を誇ります。道の駅「星のふる里ふじはし」に併設されており、近くには、天然温泉「いび川温泉藤橋の湯」もあります。

開館時間:4月～10月 10:00～17:00、11月～3月 10:00～16:00  
利用料:高校生以上300円、小中学生150円 休館日:毎週火曜日  
問合先:揖斐川町藤橋振興事務所 TEL:0585-52-2111



### いびがわの祭り

明治期に揖斐川町を襲った大洪水をきっかけに、災害復興と揖斐川の安全祈願を目的として、毎年8月上旬に開催される夏の風物詩。目玉は、人々の願いや想いをメッセージシールに記し、花火玉に貼りつけて打ち上げる「ありがとう花火」。その迫力は圧巻の一言!